

事業所名:チャイルドハート波佐見みらい

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			定員に対し、指導訓練室のスペースはティ説であるが、投資実の利用人数により学習室がやや狭い場合がある。その際は訓練室の一部も使用するように対応している。	100%		
	2	指導員の配置数は適切であるか	6			日々の利用児童に対し、職員の配置数は適切であり、特に問題なく支援が出来る状況である。	100%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	6			タイムスケジュール表など、文字やが画像に手一目でわかうように設置している。玄関前はスロープを設置しており、事業所内はバリアフリー化されており、手すりを設置している箇所もある。	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			毎日清潔保持に努め、当日の活動内容に応じて環境設定を行っている。	100%		
業務改善	5	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			全ての職員が参加をして、PDCAを繰り返しながら目標と振り返りを行うように取り組んでいる。	100%		
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年アンケートを取り、保護者の意向を把握するとともに、業務改善が出来る部分は改善するように心がけております。	100%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			全ての職員が参加をして、PDCAを繰り返しながら目標と振り返りを行うように取り組んでいる。	100%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	第三者委員は今現在設置していない。			100%
	9	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	6			本部でのブランディングプロジェクトにより、全ての職員が研修を受ける機会を計画的に順次参加をして、サービスの質の向上を図っている。	100%		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			定期的にあセスメント、モニタリングを行いながら、全ての職員の意見を参考に計画作成へ当たっている。	100%		
	11	子どもの状態と適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			標準化されたアセスメントツールを使用している。	100%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			必要な支援内容の項目を選定し、1人1人最適な支援内容を設定するよう心がけている。	100%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			支援計画を可視化し、いつでも職員が確認出来るように一人一人の計画内容を掲示するよう工夫している。	100%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			全ての職員が意見できる雰囲気づくりを大切に、日々全ての職員がプログラムを立案し、意見を出し合っている。	100%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6			季節に応じたイベントや行事等を計画するよう心掛けている。	100%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			個別と集団活動を組み合わせで作成している。	100%		
	17	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の行われる支援内容や役割分担について確認しているか	6			その日の担当者が一人一人の役割を設定し、支援前に必ず確認するようにしている。	100%		
	18	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			終礼等で支援の振り返りや気づいた点、報告事項等を確認し、情報共有出来る場を設けている。	100%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記載漏れが無いよう定期的にチェックを行い、支援に対しての検証や改善を行うようにしている。	100%		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		毎月支援実施記録を取り、モニタリングを定期的に行い、計画の見直しを図っている。	100%		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		児童発達管理責任者が対応している。	100%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		必要に応じ、連携を図るようにしている。	100%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		6	該当者なし。			100%
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		6	該当者なし。			100%
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		児発管と担当職員(保育士)が定期的に保育園へ訪問をし、情報共有する場を作っている。	100%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		支援学級担任の先生へ定期的に事業所へ訪問してもらい、除法共有する場を作っている。	100%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		センターが主催している研修へ参加をしたり、事業所連絡会にて発達支援センターの方とも意見交換する場へ参加をしている。	100%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	今後学童保育との交流する場を計画していく。			100%
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		事業所連絡会へ定期的に参加をして自立支援協議会の議題内容等を把握する場へ積極的に参加をしている。	100%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		連絡帳や電話、保護者との面談を行い、本児の状況や課題を説明し、都度共通理解を図っている。	100%		
31	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	6		必要に応じ、取り組むようにしている。	100%			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	6		契約前に重説を説明し、契約時に契約書を丁寧にわかりやすく説明するよう心掛けている。	100%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		ガイドラインに沿った支援計画を立て、支援計画を更新する際は説明をして、必ず同意を得ている。	100%		
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		連絡、報告があればすぐに対応し、アドバイスを行っている。	100%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		毎年アンケートを取り、保護者の意向を把握するとともに、業務改善が出来る部分は改善するように心がけております。11月、又は12月に保護者会を開き、保護者同士の連携が出来る場を提供している。	100%		
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切に対応しているか	6		相談や申し入れがあった際はすぐに児発管へ報告を行い、迅速に対応するように心がけている。	100%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		お便りやニュースレター、ブログなどのSNSを活用し、活動内容や予定などを定期的に発信している。	100%		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		個人ファイル等鍵付き書庫にて保管をし、個人情報漏洩防止に努めている。	100%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		定期的な面談等で保護者と事業所側で意思の疎通を図ると共に、情報伝達を迅速に行えるよう対応し、配慮を行っています。	100%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		地域で自営店を営む方を招いてのイベントを毎年計画している。	100%		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		職員会議にて職員が周知する場を設け、保護者へはそれぞれに対してマニュアルがあることを面談時等にお話している。	100%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		避難訓練、消防訓練など年間複数回訓練を実施している。	100%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		利用前見学にてアセスメントを取り、面談項目にも持病等があるのかを確認している。	100%		
	44	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		医師からの指示・依頼書を用いて確認を行い、緊急時に備えての対応を職員間で周知している。	100%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハットの事例が起こった際は、職員会議にて事例検討会を開くよう取り決めている。	100%		
	46	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		本部研修にて年間二回の研修へ全ての職員が参加をし、年に一回以上は必ず委員会を開催し、虐待防止への意識向上を図っている。	100%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		6	該当者なし。			100%

事業所名:チャイルドハート波佐見みらい

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			利用定員に対し、広すぎず、狭すぎず、スペースは適切です。	100%		
	2	指導員の配置数は適切であるか	6			配置数は適切であり、日々の支援に支障はありません。	100%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			玄関先はスロープになっており、事業所内もバリアフリー化となっております。	100%		
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	6			全ての職員が参加をして、PDCAサイクルを元に業務改善に繋げております。	100%		
	5	保護者向け評価表、アンケートなどを利用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年アンケートを行っており、すぐに業務改善できるところは行うよう務めております。	100%		
	6	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	6			毎年2月中旬頃、自社ホームページへ掲載しております。	100%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	現在第三者による外部評価を行っておりません。			100%
	8	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	6			本部が主催するブランディングプロジェクトへ職員が順次参加をし、サービスの質や資質の向上を図っております。また、外部研修へも積極的に参加できるように計画を立て、実行しております。	100%		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			アセスメントやモニタリング、面談等を定期的に行い、児童や保護者様のニーズや課題を把握し、分析をした上で個別支援計画を立てております。	100%		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			標準化されたアセスメントツールを使用しております。	100%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			活動内容は全ての職員が意見交換を行い、その日の担当職員が主の元チームでのプログラムの立案が出来ております。	100%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			ガイドラインに沿って、季節に応じたイベント行事等を計画し、児童が飽きないように活動内容の立案をし、実行しています。	100%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	6			異なる支援提供時間に対し、それぞれの活動内容を時間、分毎に設定をして支援を行っております。	100%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			両方を組み合わせたくうえで、計画を作成するよう心掛けております。	100%		
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	6			朝礼時、活動内容や役割分担をチームで共有するよう、話し合いの時間を設けております。	100%		
	16	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			終礼を毎日行い、その日の支援内容についての振り返りや気づいた点、報告事項等を確認し、情報共有しています。	100%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			正しい情報を記録し、改善すべき点やその後の支援の検証に役立てられるように、定期的話し合う場を設ける様務めております。	100%		
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			月々の支援実施記録を取りながら、半年に一度計画に対してのモニタリングを行い、見直しの必要性を判断するための話し合いを行っております。	100%		
19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6			必要な項目を選定し、組み合わせたくうえで支援内容へ反映しております。	100%			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			サービス管理責任者が参加しております。	100%			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画、行事予定、下校時刻等の確認)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6		学校との連携は図れており、何かあればすぐに連絡がつく体制が出来ております。	100%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	非該当。	33%		67%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		情報提供書などを受け取り、就学後の支援へ役立てております。	100%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	5	1	現在の利用者の中には該当者なし。	83%		17%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		児童発達支援センター主催の研修へ積極的に参加できるよう、定期的にホームページを開き、研修開催の状況を確認しております。	100%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	感染症が緩和した現在、今後取り組む予定を立てていきたいと思えます。			100%
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6		地区の事業所連絡会にて、自立支援協議会で話した議題を周知する場を定期的に設けられ、参加をしております。	100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	6		共通理解が得られるよう、定期的に保護者様と面談を行っております。	100%		
	29	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供を行っているか	6		必要に応じて、対応しています。	100%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	6		利用前には重説にて、契約時には契約書にて保護者様へ丁寧にご説明をするよう、心がけております。	100%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	6		相談等あった場合、即座に対応し、保護者様の悩みや負担を軽減できるように務めております。	100%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		毎年保護者会を開催し、保護者様同士の横の繋がりが出来るように取り組ませて頂いております。	100%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		苦情体制について、迅速に解決できるようにフローチャートを事業所内へ掲示をしております。	100%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		毎月お便りやニュースレター、定期的にブログを活用し、情報発信を行っております。	100%		
	35	個人情報に十分注意しているか	6		鍵付き書庫にて保管をし、取り扱いには十分に気をつけるよう、管理者が日頃から指導しております。	100%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		子どもの特性を把握したうえで、正確に情報伝達や意思の疎通を行うよう心掛けております。	100%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等移地域に開かれた事業運営を図っているか	6		地域にて自営店を営んでいる方へイベント行事の協力を求めるなど、地域へ開かれた事業運営を行っております。	100%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		マニュアルは策定をし、職員や保護者へも定期的に周知して頂けるようお便りやブログ等で情報発信しております。	100%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		地震、水害、火災が発生したとする想定した訓練を年間計画を立て、毎年訓練を実施しております。	100%		
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		年間定期的な研修へ全ての職員が参加をし、委員会等も開き、虐待防止への意識向上を図っております。	100%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		6	非該当。			100%
	42	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		医師の指示書に基づいて、緊急時の対応を職員間で共有し、周知しております。	100%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハットが起こった際には都度事例検討会を開き、再発防止に務めております。	100%		